

製品名: VAMP8 (8R11) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe19708**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	11kDa

抗原情報

遺伝子名	VAMP8
別名	VAMP8; EDB; Endobrevin; VAMP-8;
遺伝子 ID	8673.0
SwissProt ID	Q9BV40
免疫原	ヒト VAMP8 の合成ペプチド

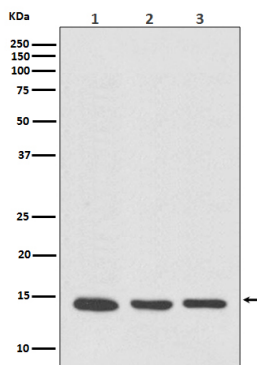
背景

可溶性 N-エチルマレイミド感受性因子結合タンパク質受容体 (SNARE) 複合体を構成するタンパク質は、小胞 SNARE (v-SNARE) と対応する標的 SNARE (t-SNARE) との対合による小胞輸送と膜融合に関与する膜内在性タンパク質です。小胞結合膜タンパク質 8 (VAMP8) は、エンドプレビンとしても知られ、もともと初期エンドソームに優先的に局在することが発見された v-SNARE です。可溶性 N-エチルマレイミド感受性因子結合タンパク質受容体である SNARE は、細胞膜の融合に不可欠なタンパク質です。対向する膜に局在する SNARE は、集合してトランス SNARE 複合体を形成します。トランス SNARE 複合体は、膜融合を促進する 4 つの α ヘリックスが平行に伸びた構造をしています。VAMP8 は、STX17-SNAP29 二元 t-SNARE 複合体との相互作用を介して、オートファゴソーム膜とリソソーム膜の融合を直接制御することでオートファジーに関与する SNARE である (PubMed:23217709、PubMed:25686604)。また、血小板における濃密顆粒の分泌にも必要である (PubMed:12130530)。膵臓腺房細胞における酵素分泌の制御にも関与する (類似性による)。細胞分裂中の中央小体の離脱に関与し、完全に分離された娘細胞につながる (類似性による)。初期エンドソームと後期エンドソームの同型融合に関与する (類似性による)。TRIM6 依存性メカニズムを介して I 型インターフェロン抗ウイルス応答の活性化にも関与する (PubMed:31694946)。

研究分野

オートファジー

画像データ



(1) HeLa 細胞溶解物、(2) NIH/3T3 細胞溶解物、(3) PC-12 細胞溶解物における VAMP8 発現のウエスタンブロット解析。